

**必見!**

農業参入を検討している **企業経営者・幹部の方**

**zoom**にて開催  
**オンライン**



# 無料 説明会

2021年

7月29日(木)

16:00

〜

17:30

**20社**  
限定



企業のための  
農業参入の手引書  
(全30p)を進呈!

## 説明会内容

- 市場・業界動向からみる農業とは
  - ・野菜は2兆3212億円の巨大マーケット
  - ・農業従事者の平均年齢67歳、5年~10年でプレイヤーが総入れ替え?!
  - ・北海道以外では94%が5ha未満…露地で農業参入は儲からない

「希少品種を収益に変える小規模農業者」  
 「田畑を集約する大規模農業者」  
 「施設園芸で収益を上げる農業参入企業」  
 の3つが生き残り業界をリードしていく

- 企業が参入すべき農業ビジネスとは
  - ・農業界で儲かっているのは、栽培をしない農業関連ビジネスだが農家数は激減する
  - ・太陽光利用型VS人工光利用型
  - ・2010年以降の大手企業の参入事例(太陽光利用型・人工光利用型)

農業参入して事業化するためには「植物工場」一択。  
 太陽光利用型と人工光利用型のビジネスモデルを詳しく知るべし。

- 企業の農業参入にみる失敗事例と成功事例
  - ・企業が農業に新規参入する7つの理由
  - ・企業が農業参入して失敗する4つの本質的な理由とは

農業参入する際に、事業として「儲かる」ことを前提として調査を徹底的に行っていない企業が多い。

- 企業が農業参入して成功するために
  - ・「高品質×高収量」が儲かる農業の基本
  - ・三大コストでコントロールできる「人件費」こそ工業的な発想が必須
  - ・現状で販路がない・少ない企業が選ぶべき品目とは? トマトは大玉とミニ、そして最近流行りの高糖度など、どれが最適なのか?
  - ・農産物の販路と手数料、そして特徴を抑えよう

農業参入し適正な利益を確保し続けることが、事業として続けていく必須条件となる。だからこそ過去の失敗事例を教訓にし、また成功事例から学んだ上で農業に参入すべき。

詳しくは…

JAMPS 農業

検索

